県立小川高校 «活性化・特色化方針（スクール・ポリシー）»

課程	全日制	学科	普通科	R7.5.1 生徒数	(男) 315 (女) 253	計 568
アクセス	JR 八高線・東武東上線　小川町駅下車　徒歩３分					

＜目指す学校像＞

主体的・対話的な教育活動をとおして深い学びを実現し、進路を拓く地域に根差した進学校

＜教育課程等＞※１

■伝統の校風×未来への学び
・有名大学を目指す進学選抜クラス（１クラス）、多様な進路に対応した普通クラス（４クラス）
・少人数展開授業を展開（1 年英語）
・１人１台のクロームブックと学習支援プラットフォームの Classi を導入
・地域の教育資源を活用した探究的な学び「おがわ学」の実践
・地域を窓に世界をみる国際交流（オハイオ州ブラフトン高校、インド・シスラビルラ女子校ビルラ男子校）
・蔵書約６万冊を誇る県内有数の小川高校図書館

＜本校が求める生徒＞※２

1　積極的に学ぶ意欲のある生徒
2　何事にも主体的に挑戦できる生徒
3　向上心を持ち、成長し続ける生徒
4　地域や社会に関心を持ち、多様性を認め合う生徒

＜学校行事＞

【４月】親稈祭（新入生歓迎会）
【5 月】遠足（R７:1 年小川町内、２年羽田・上野、３年ディズニーシー【7 月】球技大会
サマーセミナー（進学クラス）【9 月】葦火祭（文化祭）【10 月】体育祭、修学旅行
【11 月】おがわ学フォーラム【12 月】球技大会、おがわ学校内発表会
【2 月】予餞会（３年生を送る会）【毎学期実施】進路ガイダンス

＜部活動＞

【運動部 13】
少林寺拳法部（全国大会 25 年連続出場）、女子バレー部（関東大会出場）、陸上部（関東大会出場）
野球部、サッカー部、ソフトボール部、ソフトテニス部（男女）、バスケットボール部（男女）
卓球部（男女）、剣道部
【文化部 17】
グローカルメディア研究部（全国大会出場）、文芸部、美術部、書道部、コンピュータ部、華道部、音楽部、演劇部、生活美学部、写真部、ESS 部、漫画研究部、物理・化学部、JRC 部、軽音楽部、社会研究部、将棋部

＜家庭・地域との連携＞

・「おがわ学」を町内小・中学校、町役場、ＮＰＯ法人、大学、地域住民と連携・協働し実施
（町内フィールドワーク、紙漉き体験、起業家体験、おがわ学フォーラム等）
・町内の児童生徒との交流（マラソン大会の伴走、授業支援等）
・町主催の「みんなの食堂」及び「フードパントリー」へのボランティア参加
・「小川町 SDG s まち・ひとプロジェクト」、「若者未来会議」への参画

進路	R7.3 卒業生	四大	１０１人	短大	７人	専門	３６人	就職	３４人
	傾向	・四大・短大６０％、専門学校２０％、就職・公務員その他２０％ ・伝統校としての実績を活かし、多数の生徒が指定校推薦で立教大学、東洋大学、日本大学、大東文化大学等へ進学 ・１人１人の進路実現のため、進学講習、看護・医療系ガイダンス、就職ガイダンス、公務員講習、小論文や面接の個別指導を実施 ・「おがわ学」での学びを活かした総合型選抜での大学進学 ・地元企業（ホンダ、ヤオコー、太陽ホールディングス、日本郵政等）への就職							

【学校教育法施行規則第１０３条の２】高等学校における三つの方針
裏面　育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）
※１　教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）
※２　入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

県立小川高校全日制課程

目指す学校像

主体的・対話的な教育活動をとおして深い学びを実現し、
進路を拓く地域に根差した進学校

育成したい生徒像

習得した知識・技能を活用し、思考力・判断力・表現力を育む生徒
学びに向かう力や探究的に学ぶ力を育む生徒
自らを律する力や自立する力を育む生徒

3年生：【離】小川高生として自立する
自身の在り方・生き方を探究する中で、進路実現に向け、地域や社会に貢献できる力を身に付ける

2年生：【破】小川高生として挑戦する
小川高生として授業・部活動・学校行事に主体的に取り組み、自分の可能性を広げる

1年生：【守】小川高生になる
小川高生としての基本的生活習慣や学習習慣を身に付ける

■伝統の校風×未来への学び■

- 有名大学を目指す進学クラス（１クラス）、多様な進路に対応した普通クラス（４クラス）
- 少人数展開授業を展開（1年英語）
- １人１台のクロームブックと学習支援プラットフォームのClassiを導入
- 地域の教育資源を活用した探究的な学び「おがわ学」の実践
- 12運動部と17文化部（**全国大会出場：少林寺拳法部、グローカルメディア研究部、関東大会出場：女子バレー部、陸上部**）
- 生徒が主役の学校行事（親稈祭、遠足、体育会、球技大会、葦火祭、予餞会）
- 蔵書約６万冊を誇る県内有数の小川高校図書館

【地域からの期待】
●伝統校としての高い教育力
●地域との交流
●地域の活性化

【生徒・保護者の願い】
●進路希望の実現
●生徒が主体的に取り組める授業
●部活動や学校行事を通じた人間的な成長